

特集：AIST Solutions バイオテクノロジチーム

今号では、産総研研究者の研究開発の社会実装を支援してくださっている AIST Solutions のなかでも、生命工学領域とつながりの深いバイオテクノロジチームを紹介します。

株式会社 AIST Solutions

AIST Solutions（以下、AISol）は、イノベーション・エコシステム（下図）を実践していく会社として、科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律に基づき、2023年4月産業技術総合研究所の100%出資により設立されました。



AISol が産総研と目指すイノベーション・エコシステム

日本は個々の技術の「Time to Market」で勝っても、それらを新たな市場ニーズにマッチさせる「Time to Design」、本格需要を見据えて先行投資を行う「Time to Scale」に課題があります。AISol は、産総研と他の国研や大学といったパートナーが蓄積してきた“科学技術”と、課題解決に必要な研究・技術を熟知した“マーケティング人材”をかけあわせ、日本が国際競争で勝ち抜くためのオープンイノベーションの加速を目指しています。



社会課題解決に資する事業の進化・共創

バイオテクノロジチーム

AISol は産総研の研究推進機能やこれまで培った技術資産と市場ニーズを照らし合わせ、AI・半導体、マテリアル DX、デジタルプラットフォーム、エナジーソリューション、サーキュラーエコノミー、バイオテクノロジ、ウェルビーイングの7つのソリューション領域で活動しています。

AISol バイオテクノロジチームは、研究者の皆様（主に産総研生命工学領域の皆様）と同じ目線で課題や可能性を整理し、研究成果を社会実装へつなぐ「事業化・社会実装」の専門チームです。研究の狙いや学術的な価値を丁寧に理解し、マーケティング、連携パートナーの探索、共同研究計画の策定および契約締結のサポート等、研究現場の負担軽減＆研究価値の最大化を目指して伴走します。



アグリビジネス創出フェアにおける出展準備（左）および訪問者対応（右）

また、企業連携や共同研究以外にも、市場ニーズや技術成熟度に合わせ、次世代アグリ、バイオものづくり、サーキュラーバイオエコノミー、先端医療といった領域における新規事業の立上げや起業支援も行っております。

AISol バイオテクノロジチームはメンバーの多様な専門性を活かしながら、産総研のバイオテクノロジで社会課題の解決とその実現を研究者と共に目指します！



AISol バイオテクノロジチーム（田村 CTO といっしょに）

バイオテクノロジチーム メンバー紹介

ここまで AISol やバイオテクノロジチームの活動方針についての紹介でしたが、本ページからチームメンバーをお一方ずつ紹介してまいります。誌面の都合はございますが、ご担当からご専門に至るまで、皆様の情報を詰め込んでいただきました。

【氏名】

加進 恒裕（かしん たかひろ）

【所属】

バイオテクノロジ統括グループ長
(兼) コーディネート事業本部 連携推進部 第六グループ (兼) プロデュース事業本部 第三事業部
バイオテクノロジ事業構想グループ

【担当内容】

バイオ＆ケミカル、食農ビジネス、ウォーターイノベーション、生物資源循環領域の新規事業創出および企業連携

【専門/経歴】

応用化学および経営学を専攻/
繊維・総合化学企業にて廃水処理・機能水システム、バイオマス、バイオエネルギー、紙パルプ、食品プロセス、農業資材、くらし関連などの環境生活ソリューション分野における化学＆微生物処理システムの営業戦略立案、マーケティング、事業企画に従事。オープンイノベーションや科学起点での地域創生支援、経営企画・戦略策定も経験。

その後産総研に入所しアグリ・フード・バイオマス・資源循環・水環境を中心とした事業企画開発および企業連携を担当。

【生命工学領域研究者に向けて】

関心事は次世代アグリやバイオ農薬、バイオ資源活用です。事業視点での研究シーズ発掘と価値最大化に努めてまいりますので、共に新たな未来を創りましょう。

TECHNOLOGY × MARKETING

TECHNOLOGY × MARKETING



【専門/経歴】

産総研にいたときには糖鎖の研究を行っていました/

当時の湯元理事の依頼で IC になり、2023 年 7 月より AISol に移籍しました。

【生命工学領域研究者に向けて】

ある程度年齢が上の方とは、連携などの話をしたことがあるのではないかなと思います。定年まであと少しですが、老体に鞭打って連携活動を進めてまいります。一方、若い連携担当も育ってきておりますので（私より優秀ですので）、彼ら彼女らの力もご活用ください。

TECHNOLOGY × MARKETING

TECHNOLOGY × MARKETING



【氏名】

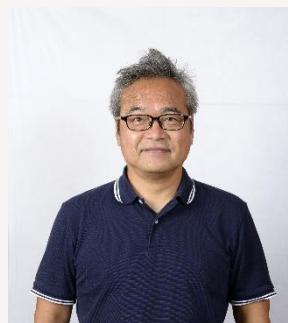
村木 祥文（むらき よしふみ）

【所属】

コーディネート事業本部 連携推進部 第六グループ

【担当内容】

医療・創薬、医療機器・診断薬、農薬・バイオスティミュラント、機能性食品（評価系）、微生物・細胞培養、動物代替（機能性評価、毒性評価）での企業連携



【専門/経歴】

バイオ・ヘルスケア全般/

32 年間某外資系製薬メーカーにて、組換え蛋白質の生産技術研究、臨床開発（リウマチ薬、抗ガン剤）、事業開発（他社との提携）、大学・スタートアップとの提携による創薬研究、一般薬（OTC）部門における新製品開発企画など、営業以外のほとんどすべての業務を経験。

【生命工学領域研究者に向けて】

皆さんの技術・研究を社会実装するために、私の経験・ネットワークを駆使して、汗をかきたいと思います。

TECHNOLOGY × MARKETING

TECHNOLOGY × MARKETING

【氏名】

武藤 れおな（むとう れおな）

【所属】

コーディネート事業本部 連携推進部第六グループ

【氏名】

後藤 雅式（ごとう まさのり）

【所属】

コーディネート事業本部 連携推進部 第六グループ

【担当内容】

医薬品、食品、分析機器、医療機器など生命工学生全般



【担当内容】

動植物・微生物によるバイオものづくり、水産ビジネスに関する企業連携

【専門/経歴】

形態学、遺伝学/
バイオ素材開発を行うベンチャー企業にて研究生物の飼育、高分子合成、樹脂～皮革様素材の製造条件開発、分析等を担当。その後、微生物培養タンパク質素材の R&D と事業化連携に従事。



【生命工学領域研究者に向けて】

研究者の方々と会いお話を聞くたびに、新しい知識や発想・最先端の技術に触ることができとてもワクワクします。産総研グループの一員としてみなさまの研究で世の中がより便利で面白くなるよう尽力します！

TECHNOLOGY × MARKETING

TECHNOLOGY × MARKETING

会をつなぐサポートに努めてまいります。

TECHNOLOGY × MARKETING

TECHNOLOGY × MARKETING

【氏名】

荻野 淳（おぎの まこと）

【所属】

コーディネート事業本部 連携推進部第六グループ

【担当内容】

メディカル、食品、ヘルスケアに関する企業連携推進、バイオ・メディカル DX の推進



【専門/経歴】

分子生物学・薬理学・薬物代謝学/
製薬企業にて創薬標的探索、薬物作用機構解析、外部連携、新規領域創出等に従事、研究提案したプロジェクトから消化器領域の薬剤を上市。新規事業創成の部署にて循環器ソリューションを立ち上げ、事業化。博士（薬学）、薬剤師。

【生命工学領域研究者に向けて】

多くのユニークな研究に触れることができ、とても興味深く仕事をさせていただいております。社会実装に向けて少しでもお役に立てればうれしいです！

TECHNOLOGY × MARKETING

TECHNOLOGY × MARKETING

【氏名】

西田 有紀（にしだ ゆうき）

【所属】

コーディネート事業本部 連携推進部 第六グループ



【担当内容】

細胞産業、メディカルヘルスケア、
バイオセンシング、バイオマテリアル
に関する企業連携 およびリサーチ

【専門/経歴】

細胞工学、バイオマテリアル、子育て/
アカデミアとライフサイエンス系企業にて、再生医療、細胞工学、
バイオマテリアル分野の研究開発に従事してきました。細胞培養歴は 15 年以上。微生物からヒト細胞まで、幅広い細胞・微生物の培養に携わってきたほか、組織培養全般、微生物培養全般、遺伝子工学にも経験があります。研究現場では、再生医療等製品の材料開発、品質管理、バイオ関連試験法の標準化など、社会実装に向けた基盤整備にも取り組んでまいりました。

【生命工学領域研究者の皆さまへ】

皆さまが持つ優れた技術やアイデアが確かな価値として社会に届くよう、企業との橋渡し役として全力で伴走いたします。また、子育てを通して得た 柔軟さと実行力 も活かしながら、研究と社

会をつなぐサポートに努めてまいります。

TECHNOLOGY × MARKETING

TECHNOLOGY × MARKETING

【氏名】

村上 晴太郎（むらかみ せいたろう）

【所属】

コーディネート事業本部 連携推進部
第六グループ 兼 プロデュース事業本部 第三事業部 バイオテクノロジ事業構想グループ



【担当内容】

バイオものづくり領域での企業連携・
新規事業創出、冠ラボ

【専門/経歴】

遺伝子工学、発生学、ニワトリ、マーケティング/
産総研事務系総合職として入所。人事総括・産学官連携（国プロ、民間受託）を担当。その後経産省へ出向し標準化政策（特に予算担当）に 2 年従事。産総研に帰任後は企業連携業務に従事。また同時に AISol の立ち上げを行い、そのまま出向中。現在は、企業連携・新規事業開発を担当。

【生命工学領域研究者に向けて】

産総研グループとして、研究の価値を最大限にできるように尽力いたします！お気軽にご連絡ください！

TECHNOLOGY × MARKETING

TECHNOLOGY × MARKETING

【氏名】

陵本 理香（おかもとりか）

【所属】

プロデュース事業本部 第三事業部バイオテクノロジ 事業構想グループ



【担当内容】

バイオ・医療機器領域での事業化構想・事業創出およびリサーチ、テクノナレッジ

【専門/経歴】

医療機器・ヘルスケア/
医療機器（主にクラス III・IV 治療機器）メーカーにて、製品マーケティング戦略、新規事業開発、新製品企画、薬事・保険戦略、臨床試験（治験モニタ）等に従事。
その後、医療機器開発支援組織にて、診断・治療用含む製品開発の相談対応や医療現場へのニーズヒアリング等を実施、更に VC にて医療領域のスタートアップ投資検討に向けた調査や投資先企業へのモニタリング・ハンズオン支援に従事。

【生命工学領域研究者に向けて】

皆様の技術の社会実装を通じ、社会課題の解決にご一緒に貢献できるよう尽力いたします！お気軽にご連絡ください。

TECHNOLOGY × MARKETING

TECHNOLOGY × MARKETING

【氏名】

春名 健一（はるな けんいち）

【所属】

プロデュース事業本部 プロデュース戦略企画部 兼 第三事業部バイオテクノロジ 事業構想グループ



【担当内容】

バイオ医薬、バイオもの作り（プロセス開発、スケールアップ、規制対

応、他）、バイオ技術を活用した事業創出

【専門/経歴】

核酸化学、光化学、合成生物学、タンパク質工学/食品企業にてアミノ酸、バイオ医薬品および成長因子等のタンパク質製造技術開発およびスケールアップに従事。特に、後者においては、タンパク質・ペプチドへの部位特異的な非天然アミノ酸導入技術開発について産官学の連携を主導。その他、欧州におけるサステナビリティ事業開発も担当し、欧州バイオものづくり事業（精密発酵、関連規制対応、等）、ならびに製造に係る GHG 排出量の算定等にも従事。

【生命工学領域研究者に向けて】

分野、領域に関わらず、事業や起業アイデアがありましたら、お気軽にご相談下さい。お待ちしております！

TECHNOLOGY × MARKETING

TECHNOLOGY × MARKETING

AISol やバイオテクノロジチームについては本誌最後に紹介するようにホームページも存在しますが、本特集号のようにメンバーの皆様の詳細までは知ることができず、皆様の経歴の幅広さに驚かれた方も多いと思います。この特集が、バイオテクノロジチームをさらによく知るきっかけとなり、今後の生命工学領域との業務に少なからず良い効果をもたらすとしたら本望です。

バイオテクノロジチームの皆様、引き続き生命工学領域のサポートをお願いいたします！

【謝辞】

今号作成に当たっては、バイオテクノロジチームの皆様、特に春名様には多大なるご協力をいただきました。チームの皆様におかれましては、ご多忙な業務の合間にご自身の情報をまとめためのお時間を頂戴し、改めて感謝申し上げます。

株式会社 AIST Solutions の公式ホームページ :

<https://www.aist-solutions.co.jp/>

同公式ホームページ内のバイオテクノロジチームのページ :

https://www.aist-solutions.co.jp/about_us/btc.html

■発行 国立研究開発法人産業技術総合研究所

生命工学領域

〒305-8560 茨城県つくば市梅園 1-1-1 本部・情報棟

<https://unit.aist.go.jp/dlsbt/index.html>

■編集 生命工学領域 研究企画室

■第 39 号 : 2026 年 1 月 16 日発行

本誌記事写真等の無断転載を禁じます。

© 2026 AIST